

Change & Growth For All

2025 WINTER

CHUDENKO

digest



サッカー
スタジアム
観戦ツアー



80th
CHUDENKO

中国実業団駅伝
3年ぶり2回目の優勝!!

技能五輪全国大会

加嶋選手が銅賞、
松田選手が敢闘賞!!



1月・7月

中電工のトピックスを
年2回
お届けします!



2025 WINTER

CHUDENKO TOPICS

おかげさまで創立80周年を迎えました

10月1日 80th CHUDENKO

創立80周年記念全店一斉朝礼

創立記念日の10月1日に当社本店において「創立80周年全店一斉朝礼」を実施しました。

朝礼にて重藤社長は、「創立から80年の歩みには数々の危機や困難がありましたが、現在までタスクをつないでくださった先輩方のご尽力に心より感謝申し上げるとともに、タスクを受け継いで頑張っている皆さんの日頃の努力に改めて感謝申し上げます。そして、当社グループを今日まで支えてくださった、お客さま・お取引先の皆さま・株主の皆さま・地域の皆さまに心より感謝申し上げます」とお礼の言葉を述べた後、当社が1944年（昭和19年）に中国地域の主要電気工事会社12社を統合し「中国電気工事」として設立されてから、数々の大きな社会・経済環境の変化を経験しながら中国地域で最大の設備工事会社に成長するまでの歩みを述べました。

続いて企業理念の改定に触れ「当社は本日『企業理念』を改定しました。新たな企業理念は『私たちは、技術と品質と誇りをもって、社会の発展を支え続けます。』です。当社グループを取り巻く事業環境は、持続可能な社会への対応が重要視されるなど大きく変化していることを踏まえ、今後も社会のさまざまな課題



解決に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献し続け、持続的な成長を目指していくという理念を明文化したものです。企業理念は、私たちが事業活動を行う上で判断に迷ったとき、立ち返るべき原点です。常に念頭に置いて、行動する際の拠りどころにしてください」と呼びかけました。

最後に「当社グループは、新企業理念のもと、次の90年、100年に向けて着実に歩みを進め、これからも総合設備エンジニアリング企業として持続的な成長に向け、グループ一丸となって努力を続けていきます」と締めくくりました。

10月15日・11月12日 80th CHUDENKO

安全実習棟の体験・見学会実施

島根県立益田翔陽高等学校（10月15日）と岡山県立高梁城南高等学校（11月12日）の生徒の皆さんを当社研修所の安全実習棟に招待して体験・見学会を実施しました。

「墜落体験」「落下物衝撃体験」「低圧感電体験」「低圧計器短絡再現」などの体験・見学を通し、現場で起こり得る危険を“安全”に体感していただきました。



「墜落体験」の様子



「低圧計器短絡再現」の様子

9月28日 86th CHUDENKO

「エディオンピースウイング広島 観戦ツアー」を実施

サンフレッチェ広島の本拠地「エディオンピースウイング広島」(広島市)において、スタジアム観戦ツアーを実施しました。これは小学生とその保護者10組(20名)を公募でサッカー観戦に招待するとともに、当社が施工した設備を紹介し、当社の仕事内容を知っていただくことを目的に実施したものです。

ツアーでは普段見ることのできないガス発電設備や空調の室外機のほかコンコースの照明や配管を見学し、当社社員がクイズやパネルを使うなどして小学生にもわかりやすく設備について説明しました。

スタジアム見学に続いては、サンフレッチェ広島アンバサダーの森崎 浩司さんをお招きしてサッカーについての特別授業を開催し、最後にサンフレッチェ広島対FC町田ゼルビア戦を観戦しました。

参加したお子さんからは当社施工の設備について「多くの人が関わってスタジアムができたということがわかりました」などの感想が聞かれました。



ガス発電設備の説明



ベンチの座りごちを体験

7月～9月 86th CHUDENKO

「広島東洋カープ」「サンフレッチェ広島」観戦レポート

4月1日に実施した抽選会の当選者の観戦レポートを紹介します。

広島東洋カープ観戦

【観戦日:8月3日(土) 対戦チーム:中日ドラゴンズ】

地元・山口の仲間と観戦しましたが、テラス席にゆったり座って応援しながら宴会ができて楽しかったです。

【観戦日:8月31日(土) 対戦チーム:ヤクルトスワローズ】

菊池選手のホームランが隣のシートの柵に直撃し、続く矢野選手もライト側のポールに直撃するホームラン! その後も打線が続き一挙5得点で、隣や後ろのシートの方々と一緒に盛り上がりました!

【観戦日:9月15日(日) 対戦チーム:横浜DeNAベイスターズ】

抜群の観戦環境で眼下に広がる天然芝に感動しました! 隣のブースにホームランボールが飛び込み、ボールを確保できなかったのが残念でした。

【観戦日:9月26日(木) 対戦チーム:ヤクルトスワローズ】

私と同じ鳥取県出身の九里亜蓮選手の活躍を嬉しく思います。今回の席はゆったり観戦でき、広島カープの大ファンである妻や子どもたちが非常に喜んでいて良かったです。



サンフレッチェ広島観戦

【観戦日:7月14日(日) 対戦チーム:アビスパ福岡】

広々として、とても見やすい席でゆったりと観戦できて良かったです。満田選手のクロスに大橋選手が合わせて先制点を決めたところが良かったです。

【観戦日:8月11日(日・祝) 対戦チーム:セレッソ大阪】

新スタジアムができ、選手と近い距離でさらに一体感を持って応援できるところが好きです。今回は、広々としていて席の前後に観戦者がいなかったのも、子どもと一緒に気兼ねなく楽しめました。テーブルがあるので、みんなで食事をしながら応援できる点もよかったです。

【観戦日:8月31日(土) 対戦チーム:FC東京】

選手やクラブスタッフとの距離が近く、ファンイベントなど積極的に開催しサポーターとクラブの絆が深いところが好きです。選手との距離が近く、緊張感をもって観戦ができて、とても見やすい席で良かったです。



7月1日～10日 2024年度 安全衛生強調旬間

7月1日から10日まで「2024年度 安全衛生強調旬間」を実施し、7月3日に当社本店において「全店一斉朝礼」を行いました。朝礼では重藤社長が社達の伝達と訓示を行い、次の3点について述べました。

○労働災害について

「災害・事故」から命を守る、安全の最後の砦となる「KY活動」について、マンネリ化を防ぎ有効に機能させるにはどうすればよいか意見交換を行うこと。

○交通事故の防止について

「呼称運転」と「安全確認」を習慣化できるよう安全運転指導や教育において、繰り返し丁寧な指導を行うこと。

○健康管理について

食事や睡眠をしっかりとり、水分補給や休憩を適切にとるといったことを日頃から実践し、熱中症にならない『習慣と体力』を身に付けること。



最後に「私たちの生活と仕事の基本となるものは、何と言っても『安全と心身の健康』です。この『安全衛生強調旬間』を契機に、安全と健康の大切さを改めて強く認識し、当社と協力会社の皆さんが一緒になって『災害・事故』の根絶に努めるとともに、健康の保持・増進に取り組むことをお願いします」と締めくくりました。

旬間中は、各事業場で現場の総点検や安全教育を行ったほか、従業員や協力会社が一同に集まり安全衛生集会を実施しました。

8月2日・8月27日 学生向け体験会

当社の本店と研修所において、学生を対象とした体験会「夏のリコチャレ2024『夏休みお仕事体験in中電工』」(8月2日)「夏季1day中電工チャレンジ」(8月27日)などを実施しました。

「夏のリコチャレ」では、11名の女子学生が参加し、3D CADによる設計図の作成体験や安全実習棟での「低圧感電体験」、VRによる「足場からの転落体験」、当社の女性技術者との座談会を行いました。

また「夏季1day中電工チャレンジ」には21名の学生が参加し、会社概要の説明と空調管工事を基本とした施工管理業務の説明の後、研修所へ移動し「ドローン操縦体験」「地中線敷設マンホール降下体験」や安全実習棟での「危険体感」「空調管工事のAR(拡張現実)体験」などを行いました。

学生からは「中電工の業務を幅広く体験でき、理解を深めることができました」「安全実習棟の体験を通して、きちんとした安全対策がとられていると思いました」などの声が聞かれました。



「夏のリコチャレ」VR体験の様子



「夏季1day中電工チャレンジ」空調管工事のAR体験の様子

\\ 8月7日 //

女性活躍推進ワーキンググループが 重藤社長へ活動報告

当社本店において、女性活躍推進ワーキンググループ（以下WG）が重藤社長へWG発足からこれまでの活動内容などを報告し、意見交換を行いました。

重藤社長は「皆が働きがいと働きやすさを感じることができるよう施策を総動員で考える必要があり、職場環境や業務内容で仕事を辞めるという選択肢がなくなるようにしていかなければなりません。若い世代の社員が増え、社員の感覚が大きく変化してきていると感じており、WGを年齢や性別にとらわれない幅広いメンバーで構成し若い世代の意見も発信してもらいたい。今後もこのような意見交換ができる場を定期的に設けていきたいと思います」と述べました。



意見交換会の様子

\\ 8月7日 //

「くるみん」に認定

当社は、厚生労働省から「くるみん」に認定されました。

「くるみん」とは「少子化に対応して、子どもたちの健やかな育成を支援するための法律（次世代育成支援対策推進法）」に基づき、一般事業主行動計画を策定した企業のうち、計画に定めた目標を達成し、一定の基準を満たした企業を認定する制度です。

11月20日には広島労働局（広島市中区）にて実施された認定通知書交付式へ東岡業務本部長が出席し、認定通知書を受領しました。

なお、中国5県の建設業で社員が1,000人を超える規模の企業の内「えるぼし（2023年9月認定）」と「くるみん」の2つに認定されている企業は当社のみです。（2024年12月現在）



「くるみん」認定通知書を受領した東岡業務本部長（左）

\\ 8月23日 //

広島東洋カープ4社合同応援に参加

MAZDA Zoom-Zoom スタジアム 広島（広島市）において、中国電力、広島ガス、広島銀行と当社の4社合同で広島東洋カープの応援を行い、合わせて約2,100人が参加し、熱い声援を送りました。

阪神タイガース3連戦の1戦目として行われた試合は、1回に先発玉村選手が森下選手と佐藤（輝明）選手の連続三塁打で先制点を許し、5回には再び佐藤選手の適時二塁打で1点を浴びるなど3点を許しました。カープは7回に1点を返しましたが、追加点を取ることができず勝利とはなりませんでした。



応援の様子

\\ 9月4日 //

2024年度 送変電地中線部門 技能発表会



発表会の様子

当社研修所において「2024年度 送変電地中線部門 技能発表会」を実施しました。本発表会は、新入社員や若年者の技能習得意欲高揚を図るとともに、部門のライン管理者が個々の相対的能力を把握し、より実効性の高いOJTを実施することで、職場の活性化を図ることを目的として毎年実施しているものです。

今年度は、新入社員と2・3年目の社員計18名が参加し、送電線要員のA・B班は碍子間のジャンパー線の圧縮・開放作業や懸垂碍子装置取り替え作業を、地中線要員のC班はケーブルヘッドの開閉と避雷器の取替作業を行いました。

迫谷会長や重藤社長、谷口副社長をはじめ、本店本部長・部長、電力建設所長、各電力センター所長らが見守るなか、各班とも互いに声を掛け合って安全作業で競技に取り組んだ結果、想定していた1時間30分よりも早く作業を完了することができました。

\\ 9月11日 //

2024年度 新入社員(配電線要員) 教育成果技能発表会

研修所において「2024年度 新入社員(配電線要員) 教育成果技能発表会」を実施しました。本発表会は、9月20日に修了式を控えた新入社員が入社後約6か月間で身につけた技術・技能の成果を披露する発表会で、新入社員47名(当社社員40名、グループ企業社員7名)が8班に分かれ、高压線・低压線の新設や変圧器の設置作業などに取り組みました。迫谷会長や重藤社長、谷口副社長をはじめ、本店本部長、関係会社や新入社員のご家族の皆さんが見守るなか、互いに声を掛け合い基本動作やルールを一つずつ確認しながら確実に作業を行い、電柱4本の架線4列を完成させました。



発表会の様子

\\ 9月28日 //

サンフレッチェ広島 スポンサーゲーム

エディオンピースウイング広島(広島市)において、J1リーグ32節「サンフレッチェ広島 vs FC町田ゼルビア」の試合が、中国電力と当社のスポンサーゲームとして開催されました。

試合開始前には、当社社員のお子さんが「フラッグベアラー」と「エスコートキッズ」に参加し、中国電力陸上競技部の油谷繁アドバイザーと当社陸上競技部の倉本玄太選手がキックインセレモニーに登場しました。

また、エディオンピースウイング広島のパーティテラス席4区画(120席)での合同応援を実施し、当社社員やご家族が熱い声援を送りました。



パーティテラスでの応援の様子



エスコートキッズの様子

\\ 10月1日 //

企業理念の改定

当社は企業理念を改定しました。

〈企業理念〉 私たちは、技術と品質と誇りをもって、社会の発展を支え続けます。

新たな企業理念は、総合設備エンジニアリング企業として、常に技術と品質を追求し、誇りをもって社会インフラを支えることで、社会のさまざまな課題解決に取り組み、社会の持続的な成長に貢献し続けていくことを簡潔明瞭に表現しています。

\\ 10月1日 //

2024年度 協力会社表彰

「2024年度 協力会社表彰」を実施しました。これは、当社の創立記念日に、日ごろから優秀な技術を駆使し責任感をもって当社業務に貢献してくださっている協力会社に対し、感謝状を贈るものです。

今年度は35社を選定し、各事業場で表彰式を行いました。



山根設備 山根社長(左)と津山営業所 浅沼所長



(株)上田電工 上田社長(左)と電力建設所 有田所長

\\ 11月14日 //

2024年度 配電線工事技能競技会

研修所において「2024年度(第20回)配電線工事技能競技会」を実施しました。本競技会は「配電部門の培ってきた高い技術力と『安全確保を最優先とした』作業の実践を競技することで改善点を確認し、さらなる作業安全と技能の向上を図る」ことを目的に隔年で実施しています。今回も中国5県の事業場から5班が出場し、今回の課題「高圧停電により、3線一括移線工具を使用して装柱変更工事を行う」について、来賓や視察者・見学者の見守るなか、出場者は互いに声を掛け合い安全確認しながら息の合ったチームワークで作業を進め、約2時間で課題を完成させました。

閉会式では「最優秀賞」「優秀賞」「優良賞」の発表があり、重藤社長が各チームに表彰状を授与しました。



競技会の様子

\\ 11月19日 //

「第69回(令和6年度)澁澤賞」 を受賞

このたび、当社が開発した「ウインチワイヤ無動力巻取器」(以下、本装置)が「第69回(令和6年度)澁澤賞」を受賞し、東京都内で行われた第69回(令和6年度)澁澤賞の贈呈式に本装置を開発した有田 昭夫さん、山口 亮さん、近藤 聡さんが出席し、表彰状を受領しました。



ウインチワイヤ
無重力巻取器



後列左から山口さん、近藤さん 前列中央 有田さん

\\ 11月21日 //

2024年度 技術成果発表会

本店において「2024年度 技術成果発表会」を実施しました。

本発表会は、業務を通じて創意工夫した技術成果を全店に水平展開することにより、技術力の強化と技術提案営業の推進に役立て、技術系社員の活性化を図ることを目的として1987年から毎年実施しています。

今年は13名の発表者がリニューアル、品質向上、原価低減、業務効率化、安全の強化などの分野で創意工夫して実践した事例を各自持ち時間20分で発表を行い、最優秀賞には木村 健志さん(広島東部支社)の「大型工場新築工事における電気設備の先行工事について」が選ばれました。

閉会式では最優秀賞1名、優秀賞4名、優良賞6名、特別賞2名の各代表者に重藤社長が表彰状を授与しました。



最優秀賞を受賞した木村さん



会場の様子



発表者と審査員の皆さん

\\ 11月23日 //

「第62回 技能五輪全国大会」で加嶋選手が銅賞、松田選手が敢闘賞

愛知県国際展示場（愛知県常滑市）で開催された「第62回技能五輪全国大会」電工職種のに、当社から4名の選手（広島県代表2名、山口県代表2名）が出場し、山口県代表の加嶋 竜也選手が銅賞、松田 武流選手が敢闘賞を受賞しました。

当日は、懸命に課題に取り組む選手たちを応援しようと重藤社長をはじめ、東岡業務本部長や遠部技術本部長のほか本店、名古屋支社の社員も応援に駆けつけました。

大勢の人が見守るなか、加嶋選手は標準時間（5時間）内で作業を終了し、松田選手は標準時間を11分オーバーしましたが最後まで諦めることなく課題を仕上げ、入賞を果たしました。



会場の様子



銅賞の加嶋選手



敢闘賞の松田選手

\\ 12月2日～11日 //

2024年度 冬季安全衛生強調旬間

12月2日から11日まで「2024年度 冬季安全衛生強調旬間」を実施しました。同旬間は、冬季に入り作業環境が厳しくなることや、慌ただしい年末を迎えるにあたり「安全と健康の確保」が当社の事業運営の最優先事項であることを再認識して、全社をあげて災害事故の絶無と従業員の健康の保持・増進を推進することを目的に実施しているものです。

旬間中はポスターの掲示や胸章の着用、現場の総点検、安全運転の総点検、安全と健康を確保し快適な職場環境を醸成するための職場の総点検、本店役員・部長の事業場巡視などを行いました。

12月5日には、重藤社長が山口市内の作業現場を巡視し、工事の概要や地元建材を使用した内装への照明の取り付け方、省エネに配慮した設備などについて説明を受けました。



現場をパトロールする重藤社長（左から2人目）

\\ 11月29日 //

女性技術者意見交換会

アジュール広島ベース（広島市）において「女性技術者意見交換会」を開催しました。

これは、現場で働く女性ならではの悩みやライフイベント等を含めたキャリアプランなど、今後の働き方における課題を共有し、連帯感の醸成とモチベーションの向上を図るため開催したもので、社内に30名在籍する女性技術者のうち25名が参加しました。

本意見交換会では、3名が自らの施工体験を発表したほか「男女とも長く働き続けようと思える会社になるために必要なこと」などのテーマに沿って意見を交換・発表し、業務上の悩みや仕事と家庭の両立の難しさ、解決策などについて共有しました。

今回で4回目となった本意見交換会には、初めて迫谷会長と重藤社長が出席し、施工体験発表や、積極的に交わされる意見に耳を傾けるとともに、女性技術者に向け温かいエールを送りました。



会場の様子



会長・社長・参加者で記念撮影

\\ 1月6日 //

新年互礼会

当社本店において「新年互礼会」を実施しました。

重藤社長は新年のあいさつの後、ニューイヤー駅伝について触れ、タスキをつないでいく選手の姿に新春から大きな感動をもらったことや、選手達から一人ひとりが各々の持ち場で全力を尽くすことの大切さを教わったと述べました。続いて「中期経営計画2027」の策定作業や「魅力ある職場づくり」「安全と健康、コンプライアンス」の3点について考えを述べ、最後に今年の干支「乙巳（きのとみ）」は、努力を重ね物事を安定させていくという意味合いを持つ年とし「『変革と成長』その先にある『持続的成長』を遂げるために皆さんと一緒に努力を続け、前に進んでいきたいと思います」と締めくくりました。



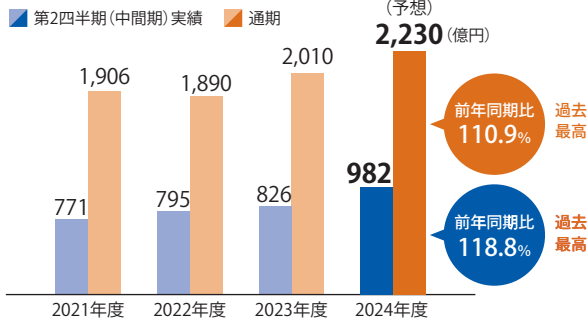
2024年度第2四半期(中間期) 連結決算ハイライト

決算POINT

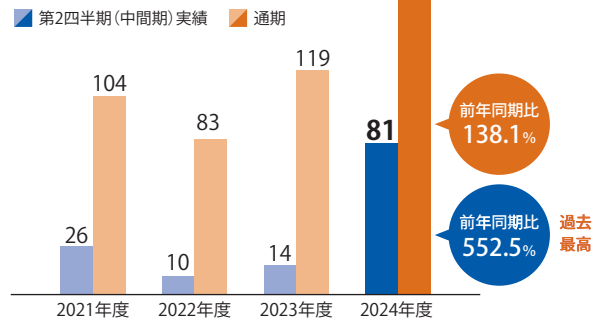
増収・増益

屋内電気工事や空調管工事などの売上増加により増収、
売上増加に加え、原価管理の徹底や効率的な施工などにより増益

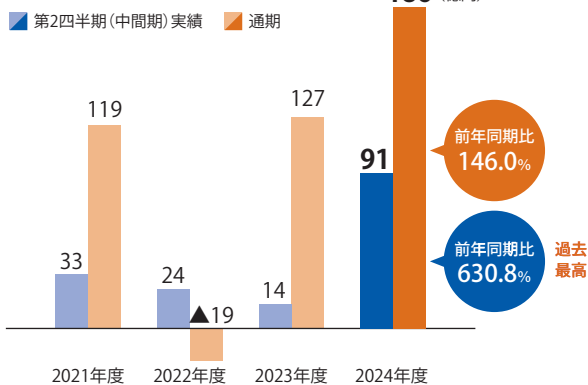
売上高



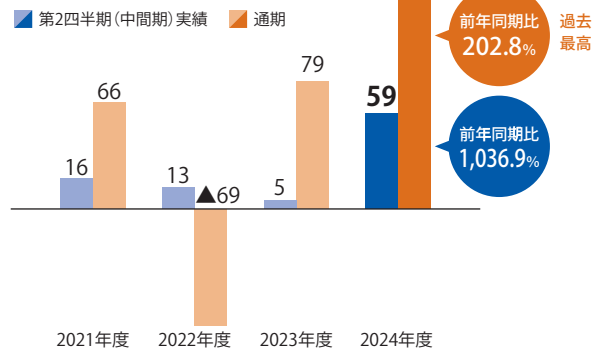
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する 中間(当期)純利益



第2四半期工事種別受注高・売上高(個別)

受注高

905億円

売上高

795億円



屋内電気工事

51.0%

	2023年度	2024年度
受注高(億円)	491	492
売上高(億円)	305	405



配電線工事

17.7%

	2023年度	2024年度
受注高(億円)	149	140
売上高(億円)	149	140



空調管工事

20.4%

	2023年度	2024年度
受注高(億円)	256	188
売上高(億円)	112	161



情報通信工事

6.8%

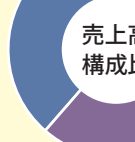
	2023年度	2024年度
受注高(億円)	88	45
売上高(億円)	29	53



送変電地中線工事

4.1%

	2023年度	2024年度
受注高(億円)	56	38
売上高(億円)	34	32



陸上競技部ニュース

\\ 1月1日 // 「ニューイヤー駅伝2025」に出場

2025年元日、群馬県で行われた「ニューイヤー駅伝2025」に29年連続で出場しました。

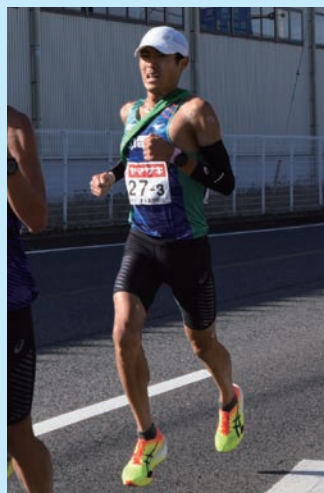
結果は34位での悔しいゴールとなりましたが、出場した選手は持てる力を精一杯出して力走しました。



1区 尾関選手



2区 北村選手



3区 相葉選手



4区 東選手



5区 岡原選手



6区 梶山選手



7区 二岡選手

成績:34位(5時間01分49秒)

区 間 (距離)	1区(12.3km) 群馬県庁～ 高崎市役所	2区(21.9km) ～伊勢崎市役所	3区(15.3km) ～三菱電機 群馬製作所	4区(7.6km) ～太田市役所	5区(15.9km) ～桐生市役所	6区(11.4km) ～伊勢崎市 西久保町	7区(15.6km) ～群馬県庁
選 手	尾関 大成	北村 惇生	相葉 直紀	東 優汰	岡原 仁志	梶山 林太郎	二岡 康平
記 録	35分35秒	1時間04分14秒	45分37秒	22分20秒	48分50秒	37分20秒	47分53秒
チーム順位 (区間順位)	27位 (27位)	30位 (29位)	31位 (34位)	33位 (33位)	32位 (17位)	36位 (36位)	34位 (23位)

7月21日・8月27日 // ランニングイベント

7月21日、Balcom BMW 広島総合グラウンド(広島市)にて開催された広島市のランニングクラブ「TopGear広島」が主催するランニングイベント「第3回PEACE TRACK GAMES」に参加協力しました。

また、8月27日には、山口県宇部市の恩田運動公園陸上競技場にて、宇部鴻城高等学校の陸上競技部および宇部地区の小中学生で活動しているランニングクラブ「UBE TRACK CLUB」と合わせて約50名を対象に「中電エランニングスクール in 宇部」を開催しました。



「PEACE TRACK GAMES」の様子



「中電エランニングスクール in 宇部」の様子

11月10日 // 「中国実業団駅伝」で3年ぶり2回目の優勝

世羅町で行われた「第63回中国実業団対抗駅伝競争大会」において、当社は3年ぶり2回目の優勝を果たし、2025年元日に行われるニューイヤー駅伝への出場権を獲得しました。

レースは1区で2位につけ、2区にタスキが渡った直後に1位に浮上し、その後は1位を他のチームに譲ることなくゴールテープを切りました。

この大会で2区アモス選手、3区相葉選手、6区北村選手が区間賞に輝き、5区の岡原選手は区間2位ながら区間新記録の好走を見せました。

また、北村選手は「MVP(最優秀選手賞)」を受賞しました。



7区二岡選手

開催日	順位	チーム(メンバー)	記録
11月10日	優勝	中電工 (尾関-アモス【区間賞】-相葉【区間賞】-倉本-岡原-北村【区間賞・MVP】-二岡)	4時間00分18秒
	2位	中国電力	4時間02分22秒
	3位	マツダ	4時間03分18秒
	4位	JFEスチール	4時間03分59秒
	5位	武田薬品	4時間16分34秒

12月1日 // 「福岡国際マラソン2024」で二岡選手が5位入賞

福岡市で開催された「福岡国際マラソン2024」に二岡選手と相葉選手が出場し、二岡選手が2時間09分46秒で5位に入り、3年ぶりに入賞を果たしました。



二岡選手

主なレースの結果

開催日	大会名	種目	順位	選手	記録
7月7日	ゴールドコーストマラソン(オーストラリア)	マラソン	4位	相葉 直紀	2時間10分28秒
9月15日	コペンハーゲンハーフマラソン(デンマーク)	ハーフマラソン	4位	アモス クルガト	58分47秒【自己新記録】
9月23日	全日本実業団陸上競技選手権大会(山口市)	5000m	2組9位	相葉 直紀	13分53秒03
10月20日	東京レガシーハーフマラソン(東京都)	ハーフマラソン	優勝	アモス クルガト	59分52秒【大会新記録】
11月23日	八王子ロングディスタンス(八王子市)	10000m	4組12位	倉本 玄太	28分50秒74【チーム歴代10位】
		10000m	6組11位	シャドラック キブチルチル	27分37秒39【自己新記録】

第62回 広島県実業団駅伝競走大会(笠岡市) 結果

開催日	順位	チーム(メンバー)	記録
10月13日	優勝	中電工(倉本-アモス【区間賞】-シャドラック【区間賞】-相葉-岡原-尾関)	2時間06分25秒
	2位	JFEスチールA	2時間07分00秒
	3位	中国電力	2時間07分08秒
	4位	マツダA	2時間07分33秒

未来を、こうしよう!



中電工キャラクター

チューデンコーギーの

こうじろう

中電工に住んでいる犬のコーギー。

大きな耳はみんなの「こうしたい!」という思いを聞き取るため。

大きな目はいちばん新しい技術や商品を見つけるため。

緑色のポケットからは、みんなの暮らしをステキにするアイデアや
道具や商品がどんどん飛び出してくるよ!



中電工 2025年1月 (vol.4)

編集・発行

株式会社中電工 総務部 広報担当

〒730-0855 広島市中区小網町6番12号

TEL (082) 291-9730